

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月31日

【評価実施概要】

事業所番号	4590100121		
法人名	社会福祉法人報謝会		
事業所名	グループホーム青島ひかり		
所在地	宮崎県宮崎市青島2丁目7番8号 (電話) 0985-55-4000		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成21年2月18日	評価確定日	平成21年3月31日

【情報提供票より】 (平成21年1月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成19年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤7人, 非常勤0人, 常勤換算6.1人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,050 円	

(4) 利用者の概要(平成21年1月15日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	5	要介護2	1			
要介護3	1	要介護4	1			
要介護5	0	要支援2	1			
年齢	平均	82歳	最低	67歳	最高	91歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人常伸会亀山記念クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

観光名所の青島参道の大通り商店街の一面にあり、新築の洋風レストランを思わせる外観は存在感がある。利用者にとっては、昔から変わらぬ青島や海岸の風景があり、土産物屋があるなど、なじみが深い。地域住民に、小規模多機能とグループホームのそれぞれを、認識し理解してもらうための働きかけが、管理者や自治会長の積極的で献身的な活動で着実に効果をあげてきている。一方で、小規模多機能の要介護度が高い宿泊利用者数が増え、グループホームの夜勤者が両方の介護を行う重責に、不安を抱えている。職員が安心して働きつけられるワークライフバランス対策が必要である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議が定期的開催され、自治会の加入や自治会長の協力地域との交流が進められてきた。利用希望者や家族の見学によりいきなりの利用開始にならない取り組みがされている。一人ひとりの希望に沿った外出支援は行われていない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価について一人ひとりの気づきや意見を出し、全体でまとめている。自己評価からの課題や外部評価で課題となった事項を改善し、質の高いケアに取り組む姿勢がうかがえる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	グループホームと小規模多機能型の合同の運営推進会議であり、それぞれの事業所を地域住民が理解し、交流する機会を設けることが討議された。事業所は地域自治会に加入している。会合に出席したり、事業所の餅つきに地域住民の参加を呼びかけている。地域では、祭りのみこしの神幸コースを玄関前まで延長するなど、利用者が地域の中で普通に暮らし続けられるよう相互の交流が築かれつつある。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会は利用開始とともに加入することになり、家族の代表者が運営推進会議に出席されているが、個々の家族の意見や要望、苦情を集約するなどの組織的な家族会活動には至っていない。苦情・相談体制は、ホーム以外の第三者体制もとられているが、運営に反映されるような苦情は寄せられていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常的な外出支援は家族によるが、職員と共に散歩している。植物園の職員や途中の商店員とはなじみになってあいさつが交わされている。夜間非常時の地域の応援体制づくりがまだ具体化されていない。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に開かれたグループホームを目標に、「地域との関係を深くし、地域の中で利用者が安心して暮らし続ける。」を理念として、日々努力されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全ての職員が理念の実践に向けて、日常業務を具体化する共有化に至っていない。	○	ミーティングやカンファレンスは職員が自由に発言できる場とし、理念を具体化するアイデアを吸い上げ、日々の業務や年間計画に組み込み共有化を図っていただきたい。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧板による地区の祭事の把握はできている。餅つきに地域の参加があったり、祭りの神幸コースがホーム玄関前まで変更されるなど、地区の理解が得られてきている。管理者は自治会長の要請に応じて会合や敬老会等の行事に参加している。	○	管理者だけでなく内容に応じて柔軟に、女性職員や利用者も地域に出向き、更なる地域との交流に努めていただきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の実施は2回目であるが、初回の職員もいるため評価の意義をミーティングで理解できるようにし、評価表に自由に書き込んでもらい、意見を取り上げ共有化する取り組みがある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は小規模多機能と合同で2か月ごとに開催されている。共通の運営推進委員のほかに、各利用者代表で構成され、出席者は2事業所を理解することができる。特に自治会長の地域における推進力は大きく、利用者のサービス向上に生かされている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者の事で、市役所との連携が取れている。市委嘱の介護相談員の受け入れも近々開始される。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪や電話にて個々の報告が行われている。法人内のグループホームがホーム便りを発行しているので、当園でも発行に向け検討中である。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用開始時に家族会加入の同意がとられているが、積極的な家族会活動には至っていない。苦情等担当者や第三者委員会が設置され速やかな解決の取り組み体制は取られている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	小規模多機能（泊まり利用者が常時6～7人）とホームを、ホームの職員が22時から1人の夜勤体制でみるため精神的負担が大きく、退職する職員がいるとのことである。利用者と職員は毎日、午後は小規模多機能のレクリエーションに参加し、なじみの関係づくりをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人の職員には救急法の研修計画がある。研修に参加できるよう、勤務配置が検討されている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	宮崎市認知症グループホーム連絡協議会に管理者が出席し、同業者との交流や研修をホームの質の向上に生かす努力がなされている。しかし、職員の交流がまだない。	○	開設間もないグループホームであり、経験の浅い職員にとって、先進ホームでの実地研修の効果は大きいので、ホーム間の交流会など、更なる同業者との交流を進め利用者に反映していただきたい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	緊急に入居が決まる場合を除いて、なるべく見学する機会を作り納得されてからの利用開始を目指している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は本人の人格を尊重し、人生の先輩としての尊敬の気持ちを失うことのない関係づくりを心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人に寄り添い、話題から得意な分野を見つけては一緒に参加したり、引き出すよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス担当者会議や家族の来訪時を通して介護計画を作成している。以前センター方式を導入しことがあり、今回研修に参加した職員が中心になって再開することも検討されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとに定期的な見直しを行っている。また、状態の変化に応じて速やかに見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	墓参り、病院受診の付き添いなど、希望に沿った支援がされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間対応される協力医療機関があり、看護師の職員が報告書や医師の指示書を基に、利用者が適切な治療が継続できるよう配慮されている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用開始時に家族には説明されているが、関係者を含めた方針を決定するところまでは至っていない。利用者の要介護度は低いが、病状悪化で看取りの事例があったことで、職員は必要性について自覚している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーを損ねるような言葉かけや介護が行われないよう気遣っている。記録等の個人情報管理にも留意がされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	小規模多機能との合同リハビリやリビングルームでの過ごし方、入浴回数などホームの方針はあるが、押しつけをせず自由に本人の希望に沿った支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームでは外部から調理された食材を加熱し配膳しているため、職員や利用者が調理することはない。おしぼりたたみやお盆ふきの手伝いを一部の利用者が行うことはある。	○	季節の食材を利用した芋団子やそばがきなど、簡単でも郷愁あることなど、家庭で暮らすような工夫をしていただきたい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の配置や午後の合同レクリエーションの参加もあり、午前中に入浴となっている。一人あたり週3回、浴室に2つの浴槽があるので、同時に2人の入浴を、職員1名で見守りや一部介助を行っている。入浴時間は、一人ひとりの好みに合わせている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的には、洗濯物やおしぼりたたみ、配膳盆ふきが主たる役割となっている。午後からは、小規模多機能のホールで行われるレクリエーションに参加し楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの近くの植物園に利用者数人との散歩等の外出は行っているが、個人の希望に沿った外出や外泊は家族に依頼している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は2事業所が使用するため鍵はかけず、センサーと内側からはタッチ式で開閉できる。現在、徘徊や帰宅願望の利用者はいないとのことだが、居室から出ることも容易であり、利用者を把握しての鍵をかけないケアが行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、火災を想定した避難訓練を実施し、避難場所、避難所要時間や誘導人員などの確認が行われているが、夜間の訓練及び協力体制はできていない。また、この地区では津波を想定した訓練が行われているが、まだ参加には至っていない。	○	火災以外の災害や夜間を想定した避難訓練を地域の協力を依頼して実施し、訓練マニュアルを策定して防災体制を整えていただきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立が作成されている。個人ごとの食事摂取量と水分量が記録されている。透析中の利用者は、普通食で水分制限の指示が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	高床の畳間のリビング、ダイニング、廊下に仕切りが無いので、広々とした開放感があり、車椅子やサークル付歩行車を使用する人が増えた場合でも、ゆったりと使用できる広さである。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	すべての居室は畳間で洗面台と押入れとクローゼットが作りつけである。ベッドやたんす、テレビや冷蔵庫、ポータブルトイレを使用されている利用者もあり、好みにより自由に持ち込みがされている。		

※  は、重点項目。